

【開催レポート】いわて沿岸エリア 移住とくらしのセミナー@東京



沿岸圏域の移住定住人口の増加に向けて、主に首都圏在住で地方への移住に関心のある方を対象に、岩手県沿岸広域振興局と沿岸9市町村（宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村）が連携し、令和6年9月29日（日）、ふるさと回帰支援センターセミナールームC（東京交通会館8F）にて、沿岸圏域での仕事や暮らし、魅力を発信する「いわて沿岸エリア 移住とくらしのセミナー」を開催しました。

【プログラム】

- ① オープニング
- ② ゲストスピーカーによるトークセッション
- ③ 市町村によるショートプレゼン
- ④ 参加者交流会
- ⑤ 個別相談（希望者のみ）

参加者は、10名（参加申込12名）、20代から60代以上まで幅広い年代の方々に御参加いただきました。



トークセッションの様子（写真左から高橋さん、石渡さん）

トークセッションでは、田野畑村へUターンし洋菓子店を営む 高橋 奈々美さんと、陸前高田市へIターンし同市を拠点とするNPO法人SE Tの職員として活躍されている石渡 博之さんの2名をゲストに迎え、移住のきっかけ（経緯）や移住後の暮らしの様子などについてお話いただきました。

参加者は、住民同士・地域の繋がりの強さなど、都会と地方の違いについて興味深く聴いている様子でした。

市町村によるショートプレゼンは、東京会場と市町村の移住支援担当者（釜石市を除く）※をオンラインでつないで実施しました。

おすすめの観光地、食、特産品などいわて三陸の魅力や、沿岸地域での暮らし、活躍している人などの事例を紹介いただきました。

東京23区と自市町村を比較した地域の紹介で笑いが起きるなど、参加者は、賑やかな雰囲気の中、移住支援担当者の説明に耳を傾けていました。

※ 釜石市を除く8市町村の移住支援担当者は、釜石情報交流センター（釜石PIT）からオンライン参加



ショートプレゼンの様子（東京側）



ショートプレゼンの様子（オンライン側）

参加者交流会では、沿岸地域の菓子、ゲストスピーカーの高橋さんが焼いたクッキーを囲み、理想の地方での暮らし等について歓談しながら親睦を深めていました。



参加者交流会の様子

（参加者アンケートの結果より）

セミナーの満足度は、アンケート回答者全員が「満足」と回答しており、好評をいただきました。

また、沿岸圏域への関心度については、「訪れたことはないが、実際の暮らしがイメージできた」、「セミナー参加前と比べて高まった」との回答があり、いわて沿岸圏域への移住に対する関心を高めることができました。

御参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

岩手県沿岸広域振興局では、今後も、沿岸圏域の市町村と連携し、移住定住人口の増加に向けた取り組みを実施していきますので、引き続き、よろしくお願ひします。